

# はあとほっとステーションしまだ

2004. 11

Vol. 24

## 整形外科専門化の意味

島田病院が整形外科を始めたのは、昭和54年現在の場所に移転した時からです。今では信じられないことですが、一日の患者数がなかなか二桁にならなくて困ったと聞いています。その後、私のスポーツ医学の師匠である故市川先生にご指導いただき、徐々にスポーツ選手の診療をメインとして外来患者さんが増加しました。一週間に一度のパート医として勤務していた私にとって30人を超すと、「今日は忙しかったね」と話していたことを思い出します。昭和59年に私は副院長として赴任しました。おかげさまで外来患者さんは少しずつ増え、それに伴って手術件数も年間300件を越すようになってきました。今では、島田病院が結核療養所であったこと、今でも結核診療を続けていることをご存じでなく、整形外科の病院と認識される方が多くなってきました。

整形外科を始めた頃、たまに飲みに行くと友人が「こいつ医者やねん」とお店の人に紹介します。たいてい「何科の先生なん？」と聞かれます。「整形外科」と答えると「私の顔、何とかならへんやろか」と突っ込まれます。「またかいな」と内心舌打ちする気分です。整形外科と美容外科の違いを説明していたものです。今では、整形外科がどんな科か、多くの方がご存じとなりました。それでも、「歯痛は歯医者、骨折は整骨院に決まってるやんけ」と決めうちされるとがっかりします。まだまだ整形外科が本当に得意とする分野は一般の方に浸透していないのかもしれませんが。

他の診療科目でもそうですが、整形外科においても細分化・専門化が進んでいます。「脊椎・脊髄」「関節」「手の外科」「骨腫瘍」「小児整形」「スポーツ整形」「リウマチ」などがあります。「関節」というのは、主に、膝や股関節の変形性関節症といった関節の障害を扱います。最近では当院でも取り組んでいるように肩関節の異常も仲間入りです。MRIの普及で検索が可能となり、関節鏡を用いて処理するようになってきたからです。

一方、一般の方には分かりにくい現象も起こってきました。たとえば「脊椎・脊髄」です。この分野は腰や首の椎間板ヘルニアといった神経の病気を取り扱います。したがって、脳神経外科医も手術を行う場合があります。また、「関節リウマチ」では免疫の病気であり、この分野の内科と診療範囲が重複します。つまり、同じ病気でも違う科で診療を受けることがあるのですからやっかいです。

島田病院はこうした整形外科の各分野の中で、骨腫瘍や小児の整形外科は取り扱うことがありません。当院で診断し、この分野での専門の診療が必要と判断すれば、近隣の施設の中で「どこのどなた」がベストの対応ができるかを調査し、ご紹介しています。自分たちが自信を持って診療できると考えたら、診断とその対応の

方法を十分ご説明して、私たちの最大限の能力を発揮して診療を行うことになります。

厚かましい表現となるかもしれませんが、島田病院で取り扱う疾患やその状態は、ある程度、特殊なものということになります。これを正確に診断し、的確に対応して、結果的にその人が被った外傷や障害によって、その方らしい生活や人生が送れなくなるようなことがないような対処を提供したいと考えています。それほど特殊な治療の要らない打撲や捻挫はむしろお近くの医療機関での対応をお勧めし、担当医からの指示や紹介により私どもが診させていただく形が理想的ではないかと思っています。

たとえば、手首の骨折です。これは日常多く経験するものですが、中には丁寧に整復（もとの形に戻すこと）をしなければ機能的な障害を残すこともあります。どんな折れ方に注意がいるのか、ご存じの先生はその程度を見極めて、専門施設である当院への受診をお勧めになるでしょう。これが診療所と病院、また、病院同士のお互いの機能をいかした連携だろうと思います。そこで当院では「整形外科地域機能連携を進める会」を開催し、顔合わせをしながらお互いの得意分野などを披露しつつ、地域の病院・診療所の整形外科の先生方と連携を図っております。

また、地域の期待に応えるためには、当院のスタッフには相当の技量と経験が必要です。医師をはじめとして看護師、技術者は積極的に学会発表を行い、外部の客観的な批評を伺う機会を作っています。また、毎週木曜日は早朝からカンファランスを行い、手術予定の症例や治療方針を決めかねている症例を出し合い意見交換をして、自分たちの技術が独りよがりのもとならないよう自戒の機会としています。

当院の診療では、施設・設備の老朽化などに関する苦情のほか、待ち時間やスタッフの接遇について、厳しいご批判をいただいております。診療の対象を絞り込み、地域の中で求められる機能を発揮しながら、みなさまのご期待に添うよう一歩ずつ改革を進めて参ります。どうぞご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

島田病院 院長 島田 永和

### <島田病院 理念>

人間愛と確かな技術に基づき  
職員全員による患者さま本位の  
ヘルスケアサービスを通し  
地域の積極的な健康づくりに  
関与する病院を目指します

### <使 命>

良質のヘルスケアサービスを  
効率よく地域の方々に  
提供し続けます

### <職員憲章>

私たちは、その人がその人らしく  
自分の人生を全うすることを  
心(Heart)と技術(Hands)で支援します

# インフォメーション

## 整形外科初診予約のご案内

当院の整形外科を受診される時は、待ち時間を短縮する為にも下記の予約専用電話にてご予約ください。

(予約専用電話) 2 0729-53-1051

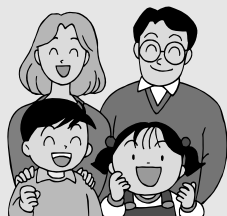
(予約電話受付時間)

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 月・火・水・金曜日 | 9:00~12:00<br>16:00~19:00 |
| 木曜日       | 9:00~12:00                |
| 土曜日       | 9:00~15:30                |

### 診療部

#### ●healthy patientについて

いきなり英語で書かせていただきました。“healthy patient”とはそのまま訳しますと健康な患者様、と訳されます。つまり、病気を持っていても健康な人と同じような生活を送ることが出来る状態である患者様のことなのです。例えば糖尿病にかかって放置しておきますと、失明にいたり、透析しないと生きていけなくなったりすることが少なくありません。しかし、最初から糖尿病のことをよく知って正常な血糖コントロールをしておき



ますと、合併症にも悩まされることもなく、健康な人と遜色ない生活を送ることができます。このように患者様にはもし不幸にも慢性疾患になられても、ぜひ“healthy patient”になっていただきたいと思っています。それが楽しく生き甲斐のある人生を送るためにも大事なことと思います。そして島田病院では、医師を中心にチーム医療をおこない、慢性疾患の患者様が“healthy patient”になれるようなお手伝いをさせていただきたいと思っています。

(内科医長 植田 秀樹)

### 看護部

#### ●看護部教育委員会の活動

看護部教育委員会の活動として毎年、看護部職員により日々行っている看護活動の成果をまとめ発表する、看護部研究発表会を開催しています。今年は「楽しもう、看護研究2004」をテーマとし9月18日(土)に、開催致しました。当日は、はあとふる看護職員46名が参加し信頼される医療を皆様に提供できるように取り組んできた研究を発表し合い、評価しました。この研究の成果を生かし今後も患者様の視点に立ち、どうすればよりよい看護が提供出来るのかを追求し続け努力していきたいと思っています。

(外来・手術室リー

### 医事課

#### ●島田病院は、羽曳野市の「市民検診」の委託医療機関です。

実施期間 4月1日～12月31日

対象 羽曳野市にお住まいの満40歳以上の方

(職場等で健診をうける機会がない方のみ)

費用 1000円(非課税)

健診内容 身体測定・血圧・心電図・血液検査・尿検査

※詳しくは、島田病院1階受付窓口までお問い合わせ下さい。

### 島田病院 公開講座

テーマ「変形性股関節症のリハビリテーション」

平成16年11月20日(土) 15:00~16:30

場所 老人保健施設悠々亭 地下1階職員食堂

講師 整形外科医師 佐竹 信爾

理学療法士 元石 光裕

参加費 無料

お問い合わせ・参加申し込みは

島田病院 リハビリテーション課 2 0729-52-1590(平日9:00~17:00)

島田病院 1階総合受付 2 0729-53-1001(平日9:00~17:00)

### <インフルエンザ予防接種のご案内>

実施期間 平成16年10月21日～12月15日(予定)

※ ワクチンがなくなり次第終了いたします。  
ご希望の方はお早めにご予約ください。

費用 1回 3,920円(消費税込み)

羽曳野市・藤井寺市・松原市・

富田林市・太子町在住で

65才以上の方は1,000円です。

ご予約・お問い合わせは

島田病院1階受付窓口、またお電話にてご予約ください。

2 0729-53-1001(代表)

# 島田病院リハビリテーション課の紹介

## ■リハビリテーション課の特徴

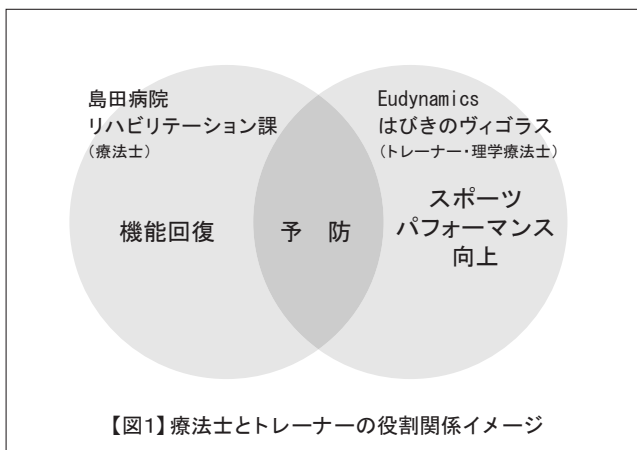
島田病院リハビリテーション課は、ダイナミック運動療法<sup>(※1)</sup>を基礎にしたアスレチックリハビリテーション<sup>(※2)</sup>を実践しており、患者様お一人お一人の目標に沿って、患者様ご自身が主体となってこれに取り組むことを大切に、各専門職種が連携して患者様のリハビリテーションをお手伝いしています。また、目標（ゴール）は機能回復にとどまらず、Eudynamics はびきのヴィゴラス（島田病院地下1階のトレーニング施設）と連携して、再発予防やスポーツパフォーマンス向上などに取り組んでいます。

<sup>(※1)</sup>ダイナミック運動療法:

スポーツ選手が腰部などに障害を起こした場合に、体幹の筋力、筋持久力、柔軟性、心肺機能をもとの状態に回復するだけでなく、個人の生活に必要なとされるレベルまでさらに向上させる治療法。

<sup>(※2)</sup>アスレチックリハビリテーション:

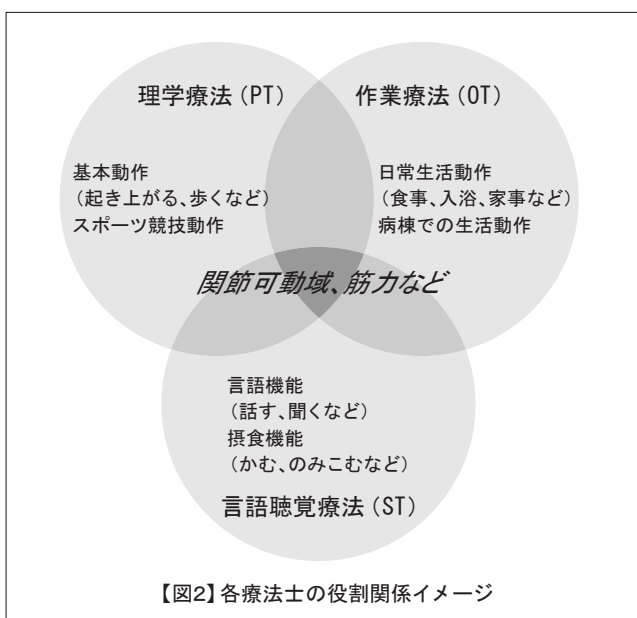
「アスレチック」とは主に運動競技選手を意味する。ケガで競技に支障をきたした選手が徐々にスポーツ復帰し、最終的に元の競技まで導く、スポーツ選手などに対するリハビリテーション



## ■リハビリテーション課の構成スタッフ

リハビリテーション課は以下の職種で構成されており、

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 理学療法士 (Physical Therapist:PT)     | 19名 |
| 作業療法士 (Occupational Therapist:OT) | 5名  |
| 言語聴覚士 (Speech Therapist:ST)       | 1名  |
| 助 手                               | 6名  |



## ■スポーツ整形疾患

膝前十字靭帯損傷やアキレス腱断裂などのスポーツ外傷の術後や、投球障害やシンスプリントなどのスポーツ障害のコンディショニング指導など、スポーツ活動を目指した積極的なリハビリテーションを推進しています。

## ■中枢疾患

脳梗塞、脳出血後遺症や脊髄小脳変性症の患者様に対してリハビリテーションを目的とした入院プランを提供しています。各職種間で話し合いを持ち、連携を取ることで早期の在宅復帰と自立した生活を支援しています。

## ■一般整形疾患

腰痛や五十肩、人工関節術後も含めた変形性関節症などのリハビリ



### 「リハビリテーション」の基礎知識

#### その1

### ーリハビリテーションの語源ー

リハビリテーション (Rehabilitation) とは、Re (再び) Habilis (適当) tion (すること) という単語からできた語で、直訳すると「再び適合すること」という意味になります。適当な単語が日本語になかったため、初めは「更正」などの訳語が使われていました。これではピンとこないため、リハビリテーションというカタカナ語をそのまま使うようになったのです。リハビリテーションという語が、ヨーロッパで初めて使われ始めた時には、宗教的な要因が強かったようです。あの「魔女

裁判」のジャンヌ・ダルクが、その後に破門の撤回、そして汚名返上によって「名誉回復」された時に、リハビリテーションという語が使われています。後に、刑法上の語として犯罪者が服役を終えた後の「社会への帰還」などに使用されていたようで、いずれも「復権」という意味合いが強いことが伺えます。医療・医学の中で「リハビリテーション」を使ったのは、随分と後になってからでした。



～ちょっとトクする話～

健康食材シリーズ 2

## 牛乳を飲もう!!

みなさんは、毎日牛乳を飲んでいますか？  
そしてどれくらい飲んでいますか？  
牛乳は好きですか？嫌いですか？

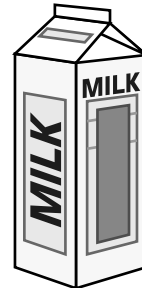
哺乳動物はみんな、生まれてから歯が生えるまでの期間、母親のミルクで育ちます。なかでも牛乳は、牛の赤ちゃんが育つための豊富な栄養を含み、卵に次いで栄養価の高い食品とされています。

子供から大人まで200～500mlの牛乳を毎日とることがすすめられています。わが国で飲まれる牛乳の量はむしろ年々減る傾向にあり、牛乳を毎日飲む人は国民の40%にとどまっているのが現状です。学校や病院などでだされる給食の中には必ず牛乳があります。当院でも、もちろんあります。しかし、やはり1割以上の方が「下痢をしてしまうので・・・」「お腹がはって苦しくなるので・・・」とちがう飲み物を希望されたり、そのまま残されたりしています。好き嫌

### 知ってほしい、牛乳の価値。

私たち日本人にいちばん不足している栄養素は？  
答えは、そう、カルシウムです。

牛乳には多くのカルシウムが含まれていますが、そのカルシウムが不足した食事を続けると、骨がもろく折れやすくなる「骨粗鬆症」(vol. 20を参照)や動脈硬化などになりやすく、注意が必要です。牛乳に含まれるカルシウムの吸収率は40%と高く、小魚の33%、野菜の19%に比べてとても優秀なのです。



栄養士が毎日の皆様の献立をたてていますが、1日に必要なカルシウム量を充たそうとすると、やはり牛乳に頼らざる得ないのです。



### 簡単クッキング

#### ミルク粥

材料/2人分 米…………… 1カップ  
鶏ガラスープ…… 2カップ半  
牛乳…………… 2カップ半  
塩 少々 パセリ

鶏ガラスープとミルクを入れて作るミルク粥は、離乳食にも最適。食欲がないときや胃腸が弱ったときにも適しています。

おいしく作るコツは最初に鶏ガラスープでお米を煮立てて、お米が軟らかくなってきたところで牛乳を加えること。最後に塩で味を整えましょう。

島田病院では、このニューズ・レターが病院と患者様を結ぶコミュニケーションツールとなるよう願っています。ぜひ、みなさまからのご意見、ご感想を館内各所に設置している「きくぞう君(ご意見箱)」までお寄せください。